

健康と光線

ガ
ン

どのようにしてガンにかかるのかについては、状況証拠の積み重ねに加えて、発ガンの過程にかんする研究も進歩し、逐次解明されつつあります。特にガンの予防と、早期ガン対策ではある程度の成果をあげています。まず予防面を見ますと、発ガン作用を持つものが分つてきましたが、癌にならないような食事をするなど「ガンの一次予防」が重視されるようになります。たゞ、どこまでガンを減らせるかは今後の問題です。

治療面は、早期ガンと進行ガンに分けて考える必要があります。ガンは通例一期（子宮癌ではゼロ期）から四期に分けます。一期は大きさは指の先まで、二期は大きさは指の先以上で、三期は末期ガンです。このうち、二期が早期がんと進行ガンで、二期が早期がんと進行

健康と光線

ガンの分類になります。

この早期ガンのうちに発見して、手術や放射線で治療する「ガンの二次予防」は、ガンに対する関心の高まりもあって可成りの成果をあげています。しかし、三期から四期のガンでは、懸命の努力が続けられています。

にもかかわらず、未だ治療手段の確立には程遠く、それ故に、ガンは宿敵として人類の前に立ち塞がっているのです。

一次予防

とサナモア

日、二三一號「光線浴にがん予防効果」

『健康と光線』昭和60年7月1日、二三八號「免疫に及ぼすサナモアの作用」を参考にして下さい。

サナモア光線協会
サナモア中央診療所
医学博士 宇都宮 光明

ガンの予防と治療 —サナモアを併用する利点—

な化学療法（抗ガン剤）に手術や放射線を併用する治療法で必ず副作用が出ますが、中でも生体のガン細胞に対する抵抗力（免疫能）を弱める作用があります。現在の抗ガン剤の効果は満足できるものではありません。その上、本さんは、当初二つの病院で、三期から四期の子宮ガンと診断されました。しかし、苦痛にめどりません。その中には、坂本さんのように経過のよい方もありますが、反面、鬼籍に入つた方もあります。

おわりに

先般、厚生省は毎日三〇種類の食品を摂るように勧告しました。これは食品の中に発ガン性物質や抗ガン性物質があるため偏食しないことがガン一次予防になるから外なりません。このように現代の予防対策は、これが中心です。しかし、ガンを防ぐには、人

発行所
〒153 東京都目黒区目黒4-6-18
サナモア光線協会
年4回 発行
会費 年500円
電話 東京(03) 793-5281
712-5322

ンに限って言えば、手術療法や放射線療法の効果は確かですが、必ず病院の指示通り治療することが必要です。

サナモアは術前術後の健康管理に使って下さい。

進行ガンとサナモア

手術再発剤例を含めて、進行ガンは全ガン患者の9割以上を占めますが、広範囲に転移しているために的確な治療法に欠けますし、『治る』『治らない』で律を日常健康法として続けることは、ガンの一次予防に役立つのです。『健康と光線』昭和58年10月1日

間の抵抗力を高めることも同じように大切です。既に本紙に記述したところですが、サナモアを日常健康法として続けることは、基本的には難し過ぎます。この進行ガンの治療について、手術再発剤例を含めて、進行ガンは全ガン患者の9割以上を占めますが、広範囲に転移しているために的確な治療法に欠けますし、『治る』『治らない』で律を日常健康法として続けることは、ガンの一次予防に役立つのです。『健康と光線』昭和58年10月1日

ます、一般状態に対する効果です。サナモアを使い始めるとき、食欲が増し、血色もよくなり、活力ができます。また、鎮痛効果を始めとする対症的効果は、患者の苦痛を和らげます。

免疫能の強化は、ガン組織の発育を抑制し、あわよくば破壊するかも知れませんし、熱療法としての効果も期待できます。また、毒素も熱に弱いことから、ガン毒素の無毒化も考えられます。

まず、一般的な治療法（手術や放射線を併用する治療法）で必ず副作用が出ますが、中でも生体のガン細胞に対する抵抗力（免疫能）を弱める作用があります。現在の抗ガン剤の効果は満足できるものではありません。その上、本さんは、当初二つの病院で、三期から四期の子宮ガンと診断されました。しかし、苦痛にめどりません。その中には、坂本さんのように経過のよい方もありますが、反面、鬼籍に入つた方もあります。

進行ガンでサナモアを使っている方は、他にも多数あります。その中には、坂本さんのように経過のよい方もありますが、反面、鬼籍に入つた方もあります。

本紙の読者の中には、医師も少なからずおります。もし、困っている症例があつたら、サナモアを使ってみて下さい。その際には、坂本さんのように一生懸命かけて下さい。



宇都宮義真撮影



肝臓時代

最近、肝臓が悪いという人が増加した。世は正に肝臓時代である。而も、肝臓の病気に対しでは対症療法の外に確実な治療法がなく、不治の病の如く思われているのである。

肝臓は、内臓中で最大の容積を占め、生理作用は極めて複雑であるが、主として物質の代謝（同化作用と異化作用）と、栄養素の貯蔵と、解毒作用と、胆汁の生成をいとなむ場所である。

肝臓は元来非常に強い臓器で減多に病気をしないが、一度病気になり慢性化させると大変である。肝臓が如何に肝腎であるかを肝に銘じなければならない。

肝臓は疲れている

肝臓は絶えず働いている。食物に混じった有害物質やアルコールを解毒するのは肝臓である。

病気を治す薬のなかにも有害となるものがある。これを解毒するのも肝臓である。殊に、近年のように薬や注射を乱用されることは、むやみに肝臓はその解毒のために過労に陥らざるを得ないのである。従つてこの病気には、益々肝臓を投与することは、益々肝

臓の過労を増すことになるのである。

急性肝炎

近年、伝染性肝炎（流行性肝炎）が各地に爆発的に発生しているのであるが原因は不明である。(注)

感染は主として経口的（口か

肝臓の病気

宇都宮 義真

肝臓が悪いと

急性肝炎の症状は、軽度の発熱があり、食欲が衰えて、全身の倦怠、頭痛、吐き気、寒け等があり、黄疸が出たり（著名でないこともある）、尿が黄褐色を呈したり、時として腹痛を訴えることもある。また、肝臓が腫れて、右肋骨弓下の肝臓部を押すと痛むことがある。

肝臓の炎症性疾患の圧痛点（押すと痛みを感じる所）は大体次の通りである。

▽マッケンジー氏点（第八十一胸椎）

▽小野寺氏点（第八十一胸椎の右側）

▽エワルド氏点（第十一十二胸椎の右側）

▽小野寺氏点（第六肋間腔下）

▽ショーファ氏点（右肋骨弓）

▽ジョンソン氏点（右第九肋軟骨下）

でなくとも、充分に養生せず、毒物やアルコールの乱用を続けていると慢性肝炎に移行し、長期の忍耐と苦痛とが要求されるのである。従つて、急性期に完全に治すことが肝腎である。

肝臓の炎症や硬変を去り、機能を旺盛にするからである。殊に、肝臓は血管の固まりのようなもので、光線に対する感受性は極めて大きいのである。

また、肝臓疾患には抵抗力の減退も悪化原因となっているところ、サナモア光線による抵抗力の強化も大きな関係があるのである。とにかく、急性の場合でも慢性の場合でも、サナモア照射によりて肝臓の異常は比較的簡単に解消することはよく経験するところである。

(注) 急性肝炎の原因になるウイルスは、昭和30年代になつて発見された。

「健康と光線」 昭和29年7月5日 発行—流行性肝炎—

「光と熱」 昭和13年10月1日発行
—人体で何が一番肝腎か—
より要約した。

▽ロブソン氏点（右第九肋軟骨下）

苦しい、長い一年と二ヶ月がたちました。

痛みだすと文字通り七転八倒の苦しみで、飛んだりはねたり、ひっくりかえるほどの苦しみから、ようやく元気になつてまいりました。この間、上野

先生に治療していただきながら、いろいろと励まされ、また人生勉強をも御指導いただき、心づよい毎日でございました。まつ黒な世界から、今はバラのような世界になつていくよう、楽しい毎日を過しております。

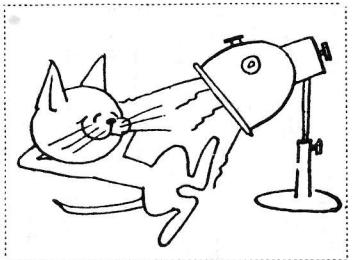
今、私は新しい人生を作り出して、今まで出来なかつた書道、洋裁、第二の人生の出発のアドバイザー、また結婚のお世話と、多忙な毎日を送らせていただいております。

ナノモア光線のすばらしい威力のおかげ様で、私は命拾いをさせていたしました。この大切な命を、これから先、意義ある生き方を

ひきこもり

うつ病

う



一治験例報告一

色がよくなり疲れなくなる。また、学校を休まなくなつた。翌日はちゃんと登校したと家中で喜んでいた。

神戸市 ウエノ光線療法

TEL ○七八三三一 一三五八
上野 貞氏報告

症例 12才(中一) 男子
日頃、病弱なため学校を休みがちで、直ぐ疲れてしまふので困っていた時に、知り合いからサナモアのことを聞き相談に来られた。

その際に、「サナモア光線療法は病気の治療だけでなく、弱くて病氣になりやすい人が、健くなりたくて使うこともよくありますよ。だから、お子さんは一番適した方法だし、きっと効き目がありますよ。家でも出来るし、かけ方は教えてあげますから」と話したら、余程悩んでいたのか、早速サナモアを購入し、指示通り自宅治療を始めた。

症例 69才 女性
夏休みになつた途端に摄氏三十度九度まで熱発した。喉(のど)も少し腫れ、鼻汁も出していた。

症例 69才 女性
この子はサナモアのため歩くのが困難になる。また、身体にも発疹が数か所出た。しかし、発疹のひどい所も一週間目位からかれ始め、二週間目には全快した。

ところがその後に、再び九度近くの熱を出し、耳下腺(耳の下にある唾液腺)が腫れて痛いと言いだした。『おたふく

子で、光線が一番好きなので、BCカーボンにて足裏二十分、三十分、足首、膝前後、腰、背、後頭部、腹、のどなどに、集光器を使いながら熱が下がるまで照射した。

ただ、解熱すると外で遊び廻るので、夜になると熱が出て、その度に光線照射をしていたら、四~五日後から鼻の入口や顔面に四~五カ所発疹が出て中にウミを持ち、「みづぼうそう」と分った。また、身体にも発疹が数か所出た。しかし、発疹のひどい所も一週間目位からかれ始め、二週間目には全快した。

ところがその後に、再び九度近くの熱を出し、耳下腺(耳の下にある唾液腺)が腫れて痛いと言いだした。『おたふく

かぜ』にかかるのである。そこでまたまた、朝夕二回、耳下腺部をはじめ前に準じて光線治療をしたら、二日間で痛みがとれ解熱した。(孫のこと)

春日市 前田 光線治療所
TEL ○九二五八一 二〇三九
症例 56才 女性
上腹部(胃のところ)に差し込むような痛みがあり、知人に連れられてとるものもとらずに来院した。

顔色は青ざめて血色は悪く、冷汗を流し、手足は冷たく、上腹部の激しい痛みに苦しんでいた。

療法経過 とりあえず上腹部の痛みを和らげるため治療を開始した。Aカーボンを使い一号集光器で光線を集光して、上腹部(胃部)に三十分照射したところ痛みは軽くなった。次いで、上腹部の後方に開放で五分、足裏に十五分、膝に五分、合計五十五分照射したが、完全に痛みはなくなり、人ごこちがついたと安心した。

この症例は、その後二ヶ月になるが、このような発作は全くない。

川崎市 東京光線治療院
TEL ○四四七二二 五〇六七
症例 56才 女性
上腹部(胃のところ)に差し込むような痛みがあり、知人に連れられてとるものもとらずに来院した。

顔色は青ざめて血色は悪く、冷汗を流し、手足は冷たく、上腹部の激しい痛みに苦しんでいた。

療法経過 とりあえず上腹部の痛みを和らげるため治療を開始した。Aカーボンを使い一号集光器で光線を集光して、上腹部(胃部)に三十分照射したところ痛みは軽くなった。次いで、上腹部の後方に開放で五分、足裏に十五分、膝に五分、合計五十五分照射したが、完全に痛みはなくなり、人ごこちがついたと安心した。

この症例は、その後二ヶ月になるが、このような発作は全くない。

愛用者だより

岩見沢市 荘司トミ

最近体験した症例の中から二つのケースを報告します。

〔一〕50才の男性で、陰茎、睾丸部にひどいカユミがあり、夜も眼れず病院三ヵ所に通つてみたものの結果はかんばしませんでした。

長い間病院通いをしているが、鼻がグズグズと治らず、胸が

愛用者だより

岩見沢市 荘司トミ

最近体験した症例の中から二つのケースを報告します。

はじめに

急性肝炎は、古くて新しい病気です。

されてから、急性肝炎に対する考え方は大きく変化しました。そのため、曾て宇都宮義真が本紙に掲載した「肝臓の病気」（2面、讃光譜に転載）を見ても、部分的には現在の学説と合わない点があります。

急性肝炎の分類

以前、急性肝炎は流行性肝炎（伝染性肝炎）と血清肝炎（輸血後肝炎）とに分け、前者は主に糞便で汚染された食物を介して経口的に伝染するため地域的に大流行がありますが、経過は比較的良好なのに対し、後者は血液を介して感染しますので散

として経口感染するA型ウイルスが輸血によつても感染し、他方主に輸血によつて感染するB型ウイルスが経口的に感染することもある。

サナモアによる肝疾患

特にB型肝炎について

サナモア中央診療所
医学博士 宇野

サナモア中央診療所

サナモアによる肝疾患の治療 ——特にB型肝炎について——

A型肝炎と立った違いが炎の正体を窺
あり、B型肝炎が極めて特異な病気であることが明白になつてきました。

アになるのは、殆んど乳幼児期に感染することが明らかにされています。即ち、乳幼児はB型肝炎ウイルス（抗原）に対して抗体を作る能力がないので肝炎にはならないのですが、キャリアになってしまふのです。このキャリアの30%は、キャリアの母親からの感染で、70%は接触した人からの感染で起こると考え

そこで、急性肝炎にかんする研究の進歩の跡を辿りながら、今の分類について述べ、次いで、中でもB型肝炎が国民病と云われる理由を記述します。その上で、決定的な治療法のない急性肝炎の治療に果すサナモア光線療法の合理性について、具体的に考察します。加えて、近時、B型肝炎撲滅の根本対策として期待されている母子感染予防について概説します。

B型肝炎の特徴

しかし、診断名として流行性肝炎や血清肝炎と言う言葉も使われていますので病名は錯綜しています。また、中毒性肝炎やアルコール性肝炎の如く、肝炎ウイルスと関係のない肝炎もあります。

と呼ばれる人のあることが判明しました。この人達は、検査を受けない限り、自分がキャリアであることに気付きません。しかも、感染源になるだけでなく、自身の人生において、B型肝炎－慢性肝炎－肝硬変－肝癌になる危険が高いことが、疫学的研究から裏付けられています。

過が遷延して慢性化する傾向も
強いと漠然と考えました。そ
の頃も、急性肝炎の原因是ウイ
ルスと考えられてましたが、ウ
イルスは確定するには至らなか
つたのです。

また、A型ウイルス感染とB型ウイルス感染とを臨床症状や肝機能検査では識別できませんが、感染の仕方や、その後の経過は著しく異なります。そのため、WHOの肝炎は、A型B型いずれでもなく、未だウイルスも発見されていないので、非A非B型肝炎（C型肝炎とも言う。）と呼ばれています。

また、A型ウイルス感染とB型ウイルス感染とを臨床症状や肝機能検査では識別できましたが、感染の仕方や、その後の経過は著しく異なります。そのため、WHO（世界保健機構）は急性肝炎を原因ウイルスからA型肝炎とB型肝炎に分けるように勧告しました。

肝炎は、従つて、現在急性ウイルス性肝炎は、A型肝炎とB型肝炎とも言つていいため、非A非B型肝炎（C型肝炎とも言う。）と呼ばれています。

ところが、急性肝炎が肝炎ウイルスの感染によることが明らかにされ、原因としてA型ウイルスとB型ウイルスが発見された結果、感染経路から急性肝炎を分けるのは事実にそぐわないことが分ったのです。即ち、主

このうち、曾て血清肝炎の大半を占めたB型肝炎は、輸血前後にチェックされるため激減しました。三、非A非B型肝炎（C型肝炎）に分類されます。

次に、キヤリアの中の問題点として、肝臓の機能検査に全く異常のない、無症候性キヤリア

無防備な乳幼児が感染する可能性は常にありますので、対策を怠るなら、昔の結核のように、21世紀には国民病になると言わされたのです。この母子感染予防策については後述します。

れたのです。この母子感染予防策については後述します。

肝疾患の治療

(五面よりつづく)

これまで述べた如く、肝疾患の病態にかんする研究が進歩したにもかかわらず、今もって特効薬はありません。それ故、一旦発病したら、臥床安静、高タンパク食等、従前からある治療法に頼らざるを得ないのが現状です。従って、肝疾患の治療法の基本は、急性肝炎も慢性肝炎も肝硬変も似ています。

まず、臥床安静ですが、床について寝ることが必要な理由は、肝臓を流れる血流量が体位によって大きく左右されるためです。即ち、肝臓を流れる血流量は、横臥位から座るだけで30%以上減少し、更に運動時には50~80%減少します。

次に大切なのが栄養です。肝臓病食は一般的には、高タンパク、高カロリー、高ビタミン、低脂肪と言われます。このうちタンパクは、破壊された肝細胞を修復するために多量に消費するアミノ酸の原材料となるだけでなく、脂肪肝も防ぎます。

ところで、肝疾患のサナモア光線療法は、右上腹部(肝臓部)は前後あるいは側方から照射、他に膝、足裏などを照射します。(カーボンはADかBDを使用)

し、一ヵ所10分程度を目安にし下さい。これによって、腹腔内および肝血流量は一段と増加します。また、食欲が増し消化吸収がよくなります。その結果肝臓の自力再生を促し、治癒機転を促進します。

ただ、臥床安静と食事療法は言わば守りの治療です。急性肝炎のようなウイルス性疾患の治療の根幹は、ウイルスに打ち勝つ抵抗力を獲得し、ウイルスに直接作用して活動性を抑え、出来ることなら消滅させる攻めの治療が望ましいことは言うまであります。この効果をサナモアで期待できます。

現在、B型肝炎はB型ウイルス抗原を指標にして、肝炎の活動性を判断できることが明らかにされています。この指標を使いつて、サナモア中央診療所で経過観察中の慢性B型肝炎患者で追跡調査したところ、抗原が陰性化した症例を経験しました。この所見は、サナモアが患者の免疫能を高めたためとも考えられます。原因療法として使用し得ることを示唆しています。ただし、

の治療には未だ決め手はありません。その中において、サナモアは、免疫系を介して生体の低抗力を高めるとともに、保存療法の面では肝血流量を増やすことによって、肝疾患治療に有用な手段として使用し得るのです。

B型肝炎の母子感染予防

B型肝炎が肝臓病の中でも特異な病像を持ち、治療の難しいキャリアを作るため、この予防対策の確立が待望されています。

近年、B型肝炎に感染した直後で、極く少量のウイルスが身体の中に限って高価の抗体を含有する免疫グロブリンと肝炎ワクチンを併用して

にされています。この指標を使いつて、サナモア中央診療所で経過観察中の慢性B型肝炎患者で予防措置を講じ得ることが明らかにされ、乳幼児の母子感染を予防する具体的な体制作りが始められています。今の日本では、

B型肝炎のキャリアは二三百万人います。いたいければ、このサナモア愛用者を以て、光線療法の研究を行うと共に、啓蒙普及活動を行ったためサナモア光線協会を設立しました。サナモア光線協会は、設立の趣旨に賛同載いた会員にて構成し、季刊紙「健康と光線」を発行します。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

協会では、会員を募集しております。

入会希望者は、左記宛御申込み下さい。

〒153 東京都目黒区目黒4-1-18

(本紙の無断転用を禁止します。)



サンモア 光線協会
趣 意 書